

「2019年冬期対策に関する申し入れ」団体交渉①

【共通】

1項 701系および751系車両は走行中にドアの隙間から雪が入り込み車内温度が低下するため、原因を明らかにし解消に向けた対策を講じること。

組合

- ・701-38号機車両の雪が隙間から入り、ドア一面に付着している。
- ・他に対策はしているのか？

会社

- ・レールヒーターと戸袋の一部分で、雪を溶かしている。
- ・現行これ以上の対策はないが、特定の車両も指摘されたので会社としてもみていく。

2項 ホームが凍結する恐れのある箇所について対策を講じること。また雨垂れが発生する箇所を調査し修繕すること。

組合

- ・川部駅（五能本線階段下、待合室横）と秋田駅（表1～羽下ホーム通路）のことは把握しているか？
- ・川部駅五能本線の凍結対策は、ホーム全体をやるべきではないか？
- ・融雪剤が効果的なのか？融雪マットは？
- ・川部駅五能本線の階段下と、待合室横（青森方）は、今冬期で検証すること。

会社

- ・把握している。秋田駅では当務助役が巡回し融雪剤を巻いている。川部駅の階段下は融雪剤を巻いて対策している。
- ・融雪剤は氷を溶かし再凍結まで時間がかかるので効果はある。融雪マットは段差が発生するので、滑り止めテープなども検討していく。
- ・会社として検証する。

【県南地区関連】

1項 田沢湖駅は巡回除雪やホーム除雪を行うことでお客さまの安全と輸送の安定性を確保してきたことから、これまで通りの冬期体制とすること。

組合

- ・部外能力の具体的な活用は？

会社

- ・早朝はテンポラリーで対応。2019年の夜が不安ということから、CSP作業時間の見直しをした。それでも補えなければCSPも超勤対応する。

2項 昨年度の冬期では、423Mにお客さま乗車後、輸送指令より除雪作業のため数時間遅れる旨の連絡があったことからお客さまを降車させる等の案内を行った。そのため連絡体制を徹底し、早めの運行判断を行うこと。

組合

- ・お客さまに迷惑を掛けないため、除雪が遅れた際の運転見込みについて早めの判断・連絡が必要。
- ・異常時の乗務員操配で、長時間乗務させ、乗務員交代をさせない。そのために睡眠時間も短く、安全が脅かされているのではないかと？

会社

- ・輸送指令と機械除雪作業者と情報交換し運転見込み時間を出しているが、降雪状況や現場の声によって、もう一度投排雪保守用車で除雪し直すこともあるため、遅れが増すこともある。判断したことを現場連絡することを密にしていく。
- ・乗務員の体調管理も当直の業務。体調管理が第一ということ、支社として各当直に連絡する。